

イノベーションを実現する大学への改革

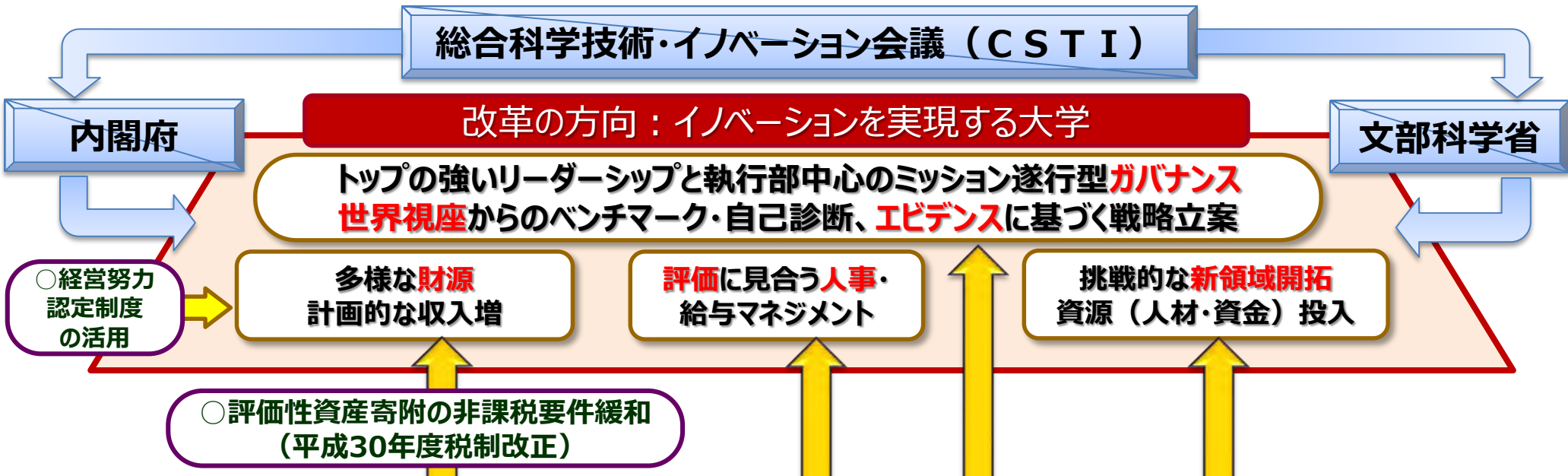
平成 29 年 12 月 25 日

総合科学技術・イノベーション会議

上 山 隆 大

国立大学の経営改革促進

- 日本の大学（特に国立の研究大学）は、**社会ニーズに応え、「投資に見合うリターン」を生み出し、研究・教育・社会貢献を担う「知識産業」**へと脱皮する必要がある。
- そのために必須な**経営力強化**を実現するため、**文科省と内閣府が共同事務局**となり、**ハンズオンの改革支援**を実施。
 - ・改革マインドをもつ学長のリーダーシップによるガバナンスの強化、スピード感のある経営改革
 - ・国立大学の改革を基軸に、公立大学、私立大学、国立研究開発法人などの改革も促進



【総合科学技術・イノベーション会議が司令塔となって推進する大学改革関連事業】《内閣府と文科省が連携して推進》

- 国立大学経営改革促進事業（平成30年度新規40億円）【文部科学省】（p 1）
- S I P 事業による産学連携等を通じた、大学の知識産業化（平成29年度補正325億円の内数）【内閣府（科技）】（p 2）
- エビデンスに基づく政策立案機能の方式検証（平成29年度補正5.2億円）【内閣府（科技）】
大学がエビデンスに基づいて経営戦略を立案するための情報基盤を構築

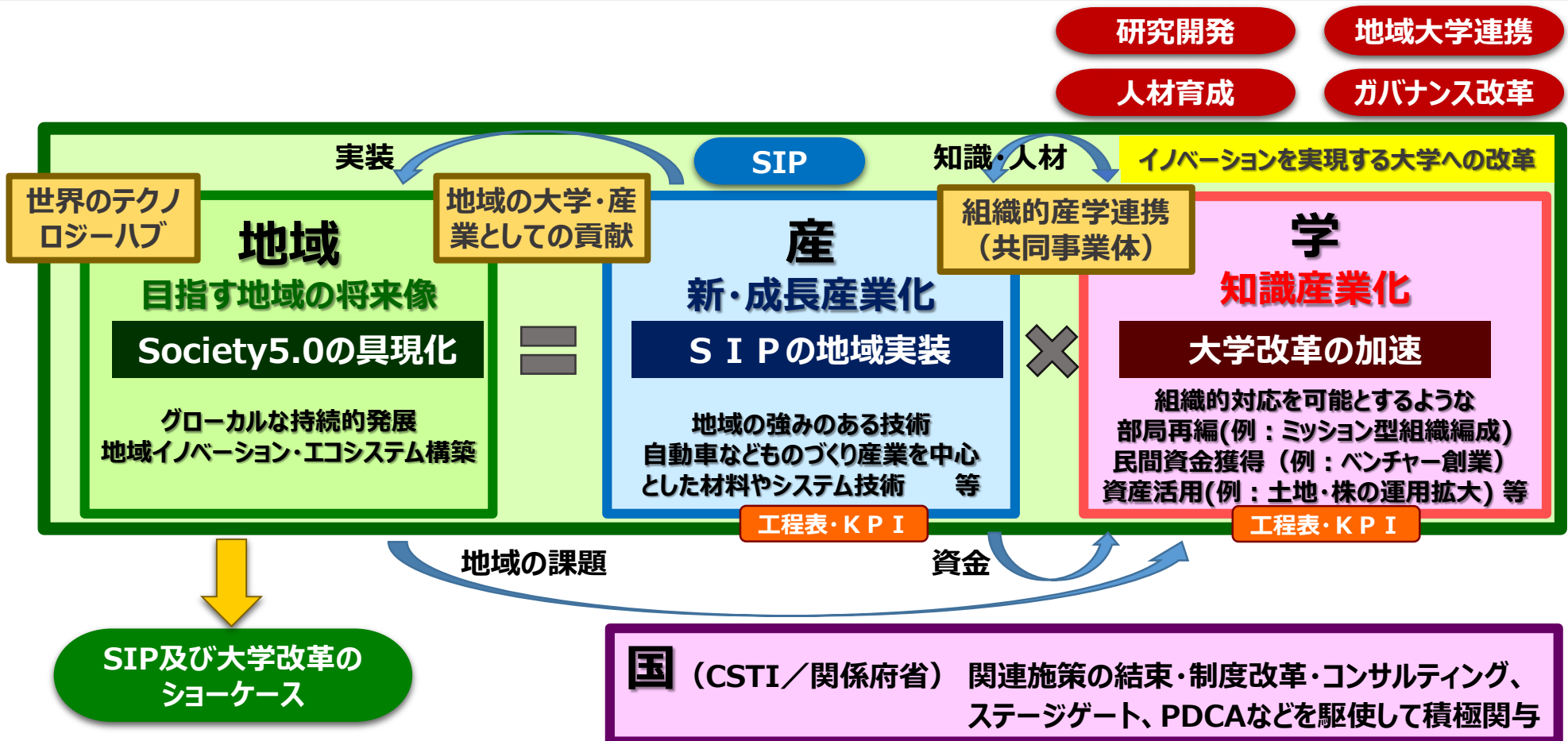
【その他の大学改革関連事業との連携】 例：地方大学・地域産業創生交付金【内閣府（まちひとしごと）】 など

「SIP事業による産学連携等を通じた、大学の知識産業化（仮称）」

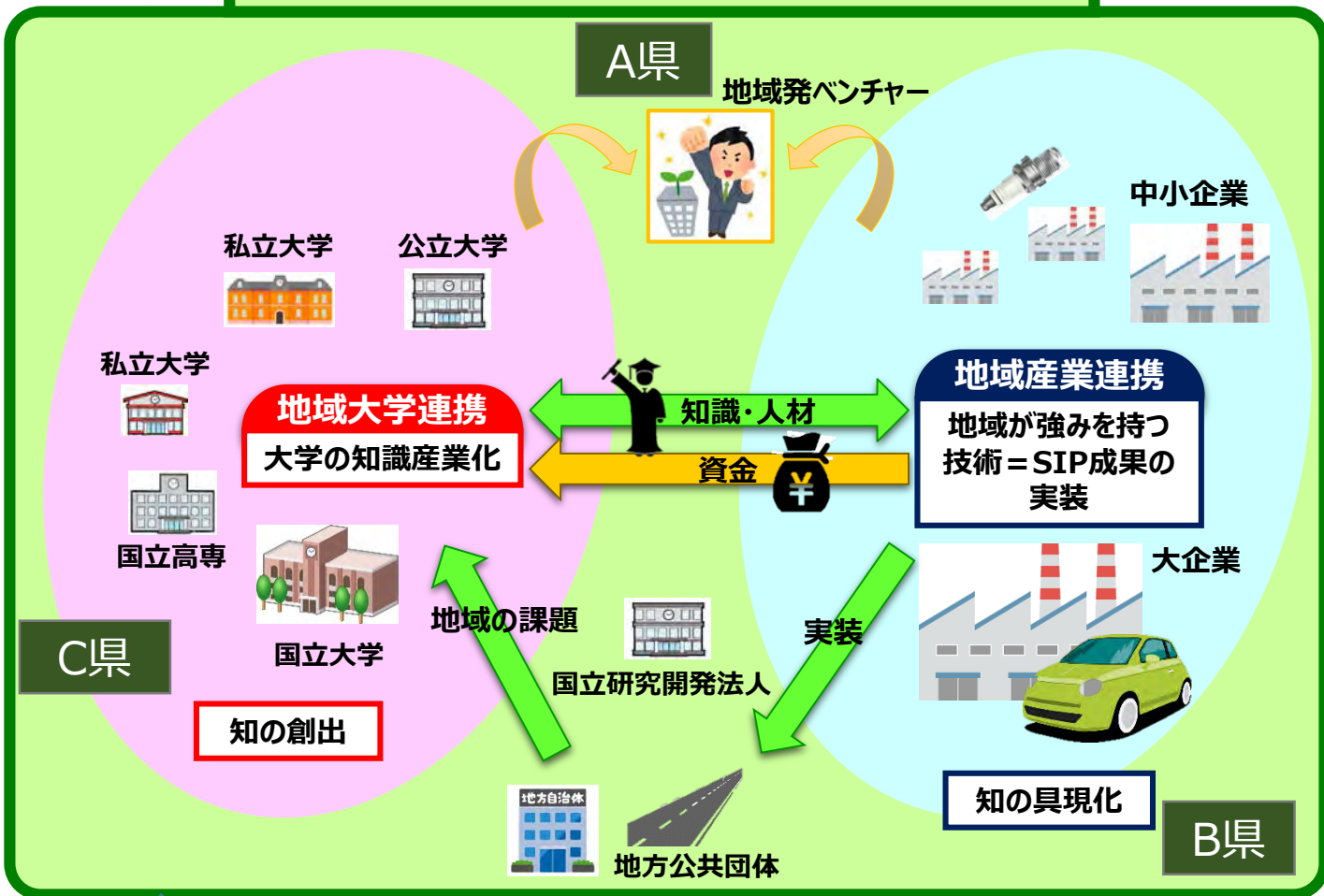
－SIPの地域実装と大学の知識産業化による生産性革命・人づくり革命－

- ①世界の大学が地域活性化の中核を形作るように、日本の大学も、所属地域における地域活性化に係るプラン策定・実行の中核となるべき。しかしそのためには、組織的な対応が可能なガバナンス体制が必要。
- ②このため産業界から評価の高いSIP事業を活用し、「地域が強みを持つ技術の開発・実装」と「知識産業化に向けた大学改革」を連動させる。

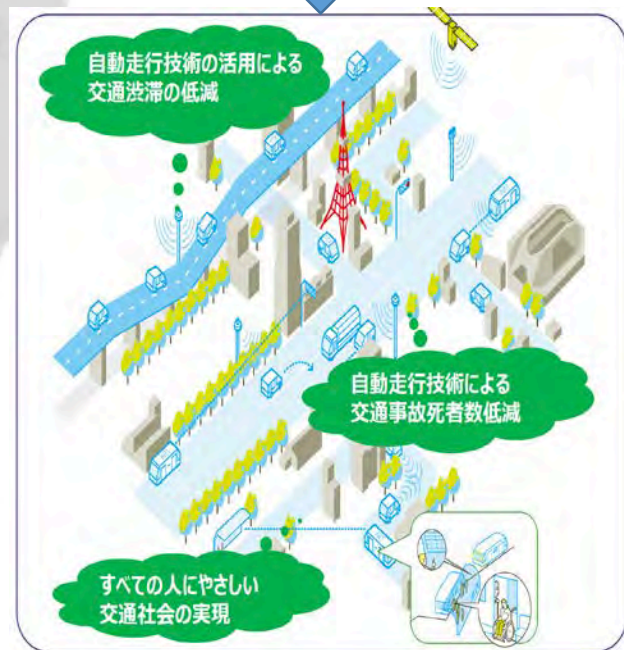
※ SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）：事業化を見据え、府省連携・産学官連携により、基礎研究から実用化までの研究開発を一気通貫で推進。



SIP地域実装産学共同事業体（コンソーシアム）



SIP及び大学改革のショーケース



ステージゲート/PDCA

SIP PD 内閣府 国（CSTI/関係府省）